

「戦略性が高く、意欲的な目標・計画」 調書

ユニット1	世界大学ランキングトップ100を目指す取組
概要	研究大学強化促進事業やスーパーグローバル大学創成支援事業（トップ型）なども包含する「広島大学改革構想」を着実に実行し、徹底した「大学改革」と「国際化」を推進するとともに、教育、研究、社会貢献の機能を最大限に発揮できるように、ガバナンス体制を恒常的に見直しつつ、学長のリーダーシップの下で経営基盤を強化し、本学の教育や研究面でのパフォーマンスをモニターする独自の目標達成型重要業績指標（AKPI [®] ）等やIR機能を活用した分析を基に本学の強みや特色を活かす戦略的なマネジメントを行う。
中期目標【1】	人類が直面する予測不能な種々の課題を発見し解決することのできる教養と専門的知識及び能力を身に付け、平和を希求するグローバル人材を養成する。
中期計画【1】 ⑤	第2期中期目標期間に導入を開始したナンバリング及びシラバスの英語化を全ての授業科目を対象に推進し、国際的に通用する教育システムの基盤を整備する。
戦略性が高く意欲的だと考える理由	（B）ナンバリング及びシラバスの英語化について、現状のナンバリング96%程度及びシラバスの英語化82%程度から、全ての授業科目を対象に推進する高い数値を目指すものであるため。なお、SGUによる予算措置を財源としている。
中期計画【2】 ⑤	グローバル化に対応した教育を実施するため、平成31年度までに全学部において英語を用いた授業科目のみで構成された学位プログラムを導入し、その成果を検証する。
戦略性が高く意欲的だと考える理由	（B）英語を用いた授業科目のみで構成された学位プログラムについて、新たに平成31年度までに全学部で導入する高い数値を目指すものであるため。なお、SGUによる予算措置を財源としている。
中期計画【3】 ⑤	グローバル化社会において、求められるコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を備えた学生を養成するため、英語による授業科目及び英語プロフェッショナル養成特定プログラムの拡充などと併せ英語能力の定期的な測定により、学部学生の25%程度をTOEFL iBT80レベルに到達させる。
戦略性が高く意欲的だと考える理由	（B）学部学生の英語能力について、TOEFL iBT80レベル到達者を、現状の6%程度から25%程度へ引き上げる高い数値を目指すものであるため。なお、SGUによる予算措置を財源としている。
中期目標【2】	高度な専門的知識を基礎に自ら価値を生み出し、人類が直面する予測不能な種々の課題を発見し解決するとともに、平和を希求してグローバルに活躍する高度専門人材を養成する。
中期計画【7】 ⑤	英語を用いた授業科目のみで修了できる学位プログラムを全研究科に順次導入し、平成31年度までに66コースに拡充して、グローバル化に対応した大学院課程教育を実施し、現代社会で活躍できる高度な人材を養成し、その成果を検証する。

	戦略性が高く意欲的だと考える理由	(B) 英語を用いた授業科目のみで大学院を修了できる学位プログラムについて、現状の34コースから平成31年度までに66コースへ拡充する高い数値を目指すものであるため。なお、SGUによる予算措置を財源としている。
	中期計画【8】 ⑤	グローバル化社会において、求められるコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を持った研究者・専門職として海外で自立可能な人材を養成するため、国際学会における研究発表の奨励、英語による授業科目及び英語を用いた授業科目のみで修了できる学位プログラムの拡充などにより、大学院生の30%程度をTOEFL iBT 86レベルに到達させる。
	戦略性が高く意欲的だと考える理由	(B) 大学院生の英語能力について、TOEFL iBT 86レベル到達者を、現状の15%程度から30%程度へ引き上げる高い数値を目指すものであるため。なお、SGUによる予算措置を財源としている。
中期目標【5】		教育の国際標準化を推進し、質の向上を図るため、他大学とも連携して、全学的実施体制を強化する。
	中期計画【12】 ⑤	第2期中期目標期間までに構築した本学の到達目標型教育を基盤として、教育の国際標準化及び質の向上を図るため、教育推進機構の下で学士課程教育と大学院課程教育の内部評価システムを充実させ、評価に基づき国際通用性を意識した改善を行うとともに、国際大学間コンソーシアム(SERU)の国際的な教育の質保証評価を受審する。
	戦略性が高く意欲的だと考える理由	(A) 教育の国際通用性を高めるため、国際大学間コンソーシアム(SERU)による国際的な教育の質保証評価を受審する全国でも数少ない取組であるため。なお、SGUによる予算措置を財源としている。
中期目標【6】		多様なニーズを持った学生(留学生、社会人、障がい学生等)に対する支援を拡充するとともに、学修環境を整備・充実する。
	中期計画【14】 ⑤	海外拠点での入学試験の成績に基づいて奨学金の採用者を選考し、渡日前に奨学金受給の可否を伝達する「新・入学前奨学金制度」を平成31年度までに導入し、採用人数、支給額等について検証を行い、経済的支援を拡充する。
	戦略性が高く意欲的だと考える理由	(A) 給付型の奨学金で渡日前に受給の可否を伝達する「新・入学前奨学金制度」を、新たに平成31年度までに導入するもので全国でも数少ない取組であるため。
中期目標【7】		国内外から多様な背景を持った優秀な人材を受け入れるため、新たな入学者選抜を実施する。
	中期計画【18】 ⑤	国際的に通用性がある英語4技能(読む、聞く、書く、話す)を測ることのできる資格・検定試験を、平成29年度入試までに全学部のAO入試において活用し、平成31年度入試までに全学部の一般入試においても活用することによって、グローバル化に対応できる人材を受け入れる。

	戦略性が高く意欲的だと考える理由	(B) 国際的に通用性がある英語4技能を測ることのできる資格・検定試験を、新たに、平成29年度入試までに全学部のAO入試、平成31年度入試までに全学部の一般入試において活用するものであるため。なお、SGUによる予算措置を財源としている。
	中期計画【19】 ⑤	優秀な留学生を多数受け入れるために、出願書類アップロード機能、ポートフォリオ機能を装備して出願から入学までをシームレスに行うことのできる英語版インターネット出願システムを開発し、平成32年度までに全研究科で導入するとともに、海外拠点等を利用した入学者選抜を全研究科で実施する。
	戦略性が高く意欲的だと考える理由	(A) 英語版インターネット出願システムの開発及び海外拠点等を利用した入学者選抜について、それぞれ平成32年度までに全研究科で導入するもので全国でも数少ない取組であるため。なお、SGUによる予算措置を財源としている。
中期目標【8】		自由で独創性の高い研究を推進し、個性ある研究分野における、国際発信力を高めるとともに、国内外の他機関とも連携しながら世界トップレベルの研究の達成を目指す。
	中期計画【22】 ⑤	世界トップ100の総合研究大学を目指し、研究マネジメント人材であるリサーチ・アドミニストレーター(URA)及び技術職員等による研究活動支援により、教員等が研究に専念できる良好な研究環境を整備するとともに、優秀な研究人材を確保することにより、論文数を第2期中期目標期間終了時の1.5倍程度とし、被引用度の高いTop1%・10%論文の増加、人文社会系にあっては、重要な学術賞を受賞できるような著書・論文を発表する。また、国際共同研究や研究者交流の促進など国際研究活動を強化し、国際共著論文を第2期中期目標期間終了時の2倍程度にする。
	戦略性が高く意欲的だと考える理由	(B) 論文数を第2期中期目標期間終了時の1.5倍程度、国際共著論文を第2期中期目標期間終了時の2倍程度にする高い数値を目指すものであるため。
中期目標【9】		研究活動を適切に評価できるように研究マネジメント機能を強化し、重点領域に効率的な研究支援を行う。
	中期計画【23】 ⑤	教員の個人評価及び本学の教育や研究面でのパフォーマンスをモニターする独自の目標達成型重要業績指標(AKPI®)等を参考に、研究活動の評価を適切に行い、大学として重点的に取り組む領域を決定し、研究者等の重点的配置を行う。
	戦略性が高く意欲的だと考える理由	(A) 世界トップ100の総合研究大学を目指すため、本学の教育や研究面でのパフォーマンスをモニターする独自の目標達成型重要業績指標(AKPI®)等を参考に、戦略的なマネジメントを行い、研究者等の重点的配置を行う取組であるため。
中期目標【12】		徹底した「国際化」を全学的に実施することで国際通用性を高め、ひいては国際競争力を強化し、世界大学ランキングトップ100を目指すための取組を進める。

中期計画【30】 ⑤	学位プログラムの国際化及び海外での留学生のリクルーティング強化などを図り、全学生に占める留学生の割合を12%程度以上に増加させる。また、日本人学生の留学を推進するため、STARTプログラム（新入生を対象とした海外留学体験）等短期の派遣者を、長期の派遣へ促す等により、日本人学生の海外派遣数を全学生の8%程度以上にする。
戦略性が高く意欲的だと考える理由	(B) 全学生に占める留学生の割合及び日本人学生の海外派遣割合について、それぞれ現状の7%程度から12%程度以上、3%程度から8%程度以上にする高い数値を目指すものであるため。なお、SGUによる予算措置を財源としている。
中期計画【31】 ⑤	グローバル化の進展に対応するため、外国籍又は海外での教育研究歴等を持つ教員を全教員の47%程度にまで増加させるとともに、外国籍又は海外での職務経験等を持つ職員を全職員の8%程度にまで増加させる。
戦略性が高く意欲的だと考える理由	(B) 外国籍又は海外での教育研究歴等を持つ教員及び職務経験等を持つ職員について、それぞれ現状の30%程度から47%程度、4%程度から8%程度にする高い数値を目指すものであるため。なお、SGUによる予算措置を財源としている。
中期計画【32】 ⑤	教育の国際標準化を推進するため、学士課程及び大学院課程の全授業科目のうち、外国語による授業科目数を30%程度に増加させる。また、留学生が日本文化への理解を深めることのできる日本語能力を向上させるため、留学生の語学力に応じた能力別カリキュラムの再編等を行い、充実した日本語教育を実施する。
戦略性が高く意欲的だと考える理由	(B) 学士課程及び大学院課程の全授業科目のうち、外国語による授業科目数について、現状の11%程度から30%程度にする高い数値を目指すものであるため。なお、SGUによる予算措置を財源としている。
中期計画【34】 ⑤	平成31年度までに、日本人学生のうち12%程度を留学生との混住舎に入居させ日常的な異文化交流を促進し、日本人学生及び留学生の国際通用性の基礎力を養う。
戦略性が高く意欲的だと考える理由	(B) 留学生との混住舎に入居している日本人学生について、現状の4%程度から12%程度にする高い数値を目指すものであるため。なお、SGUによる予算措置を財源としている。
中期目標【20】	学長のリーダーシップを強化するための環境整備を行い、IRを活用し戦略的な学内資源配分を行う。
中期計画【46】 ⑤	教育研究力強化のため、教員の人件費管理を部局等単位から、全学一元管理とし、本学の教育や研究面でのパフォーマンスをモニターする独自の目標達成型重要業績指標（AKPI [®] ）等を参考に、戦略的な人員配置を行う。
戦略性が高く意欲的だと考える理由	(A) 世界トップ100の総合研究大学を目指すため、本学の教育や研究面でのパフォーマンスをモニターする独自の目標達成型重要業績指標（AKPI [®] ）等を参考に、戦略的なマネジメントを行い、教員の人員配置を行う取組であるため。
中期目標【21】	国際レベルの競争的な環境における教育研究への取組に向け、教職員の国際通用性を高める。

中期計画【47】 ⑤	国内外の優れた教職員を確保するため、年俸制や混合給与など人事・給与システムの弾力化を推進し、年俸制適用教員を21%程度にまで増加させる。
戦略性が高く意欲的だと考える理由	(B) 年俸制適用教員について、現状の8%程度から21%程度にする高い数値を目指すものであるため。
中期計画【48】 ④	優秀な若手教員(40歳未満)の活躍の場を全学的に拡大し教育研究を活性化するため、若手教員の雇用に関する計画に基づき、テニユアトラック教員の計画的採用などにより、若手教員(40歳未満)を34%(退職金に係る運営費交付金の積算対象となる教員については23.4%)程度にまで増加させる。
戦略性が高く意欲的だと考える理由	(B) 若手教員(40歳未満)及び若手教員(40歳未満)のうち退職金に係る運営費交付金の積算対象となる教員について、それぞれ現状の23%程度から34%程度、20.4%程度から23.4%程度にする高い数値を目指すものであるため。なお、国立大学改革強化推進補助金(国立大学若手支援事業)による予算措置を財源としている。
中期目標【23】	教職員のワーク・ライフ・バランスを推進するとともに、大学運営における意思決定の場に女性を積極的に登用する。
中期計画【51】 ⑤	女性教職員の積極的参画を推進するため、女性教員及び女性管理職の割合を各20%程度にまで増加させる。
戦略性が高く意欲的だと考える理由	(B) 女性教員及び女性管理職の割合について、それぞれ現状の16%程度から20%程度、10%程度から20%程度にする高い数値を目指すものであるため。

注

- 「戦略性が高く意欲的な目標・計画」を追加で設定することを希望する場合、そのユニットに含まれる全ての中期目標・中期計画について記載してください(平成28年度以降に「戦略性が高く意欲的な目標・計画」に認定された中期目標・中期計画についても、内容を変更する場合で、変更手続きを行う年度の翌年度以降も設定することを希望する場合も記載してください)。
- 「戦略性が高く意欲的な目標・計画」に設定することを希望する複数の中期目標・中期計画が相互に関連している場合については、まとめて記載してください。このような中期目標・中期計画のまとまりを「ユニット」とします(中期目標・中期計画が1件の場合も「ユニット」とします)。
- 中期目標と中期計画には、それぞれ中期目標(若しくは中期目標原案)または中期計画(若しくは中期計画案)と同じ整理番号(通し番号)を付し、対応関係が分かるようにしてください。
- 行数、行の高さ、中期目標・中期計画の数は、適宜変更願います。
- 必要に応じて「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の概要を示す補足資料を提出願います(多くても各ユニット1～2枚程度)。複数のユニットについて1枚にまとめた資料の場合は、資料のどの部分がどのユニットのことを指しているかが分かるようにしてください。